

事業所名

放課後等デイサービスいそまつ

支援プログラム (参考様式)

作成日

R7

年

1月

9日

法人（事業所）理念	みんな違ってみんないいをモットーに、癒し育む療育を行い、できないに着目するのではなく、長所を伸ばすことができるように支援する。									
支援方針	集団療育と個別療育をバランスよく行う。									
営業時間	10時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握：口頭で健康状態に関する質問に答えたり、感情に関するプリントを行い、自分の気持ちを伝えるられるように支援しています。 構造化等により生活環境を整える：聴覚の過敏さに配慮した静かな環境に調整し、時間や空間を本人にわかりやすく構造化しています。 その他のプログラム：こんなときどんな気持ち、モニタリングシート、料理やお菓子作りを通じた食育、手洗いや整理整頓。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上：バランスボール、体幹トレーニング、サーキットトレーニングなどを行うことで、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢の維持や上肢・下肢の運動の改善及び習得、筋力の維持・強化を支援しています。 保有する感覚の活用：ビジョントレーニングを行い、視覚機能など保有する感覚の向上を支援しています。 その他のプログラム：制服のボタン留め、矢印体操、シンクロ描画、陣取りゲーム、お手玉投げゲーム、スライム作り、せっけん作り、ボールを落とさないでね、パンスピンポン、指キヤッチ、コロコロキヤッチ、じゃんけん列車、双六遊び 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成：自立課題を活用し、物の機能や属性、形、色が変化する様子、空間や時間等の概念の形成を図ることによって、認知や行動の手掛かりとして活用できるように支援しています。 認知の偏りへの対応：その子その子に合ったソーシャルスキルトレーニングを行うことで、自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援しています。 その他のプログラム：コインゲーム、ヒントを出して答えましょう、お絵描き伝言ゲーム、スタンドグラス作り、フルーツバスケット、ボードゲーム、定番ゲーム、ストロー時計。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言語の形成と活用：カタカナカードを使用して、具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の獲得、自発的な発声を支援しています。 受容言語と表出言語の支援：スピーチ課題や質問をしようゲームを行うことで、話し言葉や各種の文字。記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行っています。 その他のプログラム：言葉さがしゲーム、さかさことば、絵しりとり、早口言葉。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団への参加への支援：事前のルールを説明して参加しやすくしたり、小集団から始めることで円滑な参加を促したりしています。また、駄菓子のお買い物でおもちゃのお金を使用することで、ルールや手順を理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援しています。 その他のプログラム：他己紹介、コンセンサスゲーム、共通点探し、自己紹介カード、消防署見学、エコパーク見学、 								
家族支援	送迎時など、定期的に利用児童の情報提供を行い、保護者の困りごとを相談援助しています。				移行支援		学校と日常的に情報共有を行い、必要に応じて学校連携会議を行っています。			
地域支援・地域連携	子ども食堂に食事に行ったり、公園で地域のこどもたちと交流しています。また、他の放課後等デイサービスや相談支援事業所と情報共有を行っています。				職員の質の向上		外部研修に積極的に参加しています。また、法人内部でも虐待防止などの研修を行っています。			
主な行事等	夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、土曜日や長期休暇には、外出を行っています。									